

(報告) 第211回鶴見川舟運復活プロジェクト定例会

日時：令和7年1月22日（土）18時から

場所：新羽地域ケアプラザ 4 F

経過

10月26日、稲の脱穀を予定していましたが、天候不良により延期しました。

10月30日、港北区社会福祉協議会より当会が表彰されました。

10月31日、新横浜公園の田んぼの柵に干してある稻に、雨除けのビニール掛けをしました。参加者4名。お疲れさまでした。

11月1日、舟による自然観察会を開催しました。参加者10名、関係者18名。『タウンニュース』に取り上げられました。

11月4日、6日 予定していた脱穀は 参加者不足と雨天により延期しました

11月15日 舟運丸の塗装を延期して 脱穀をしました 参加者12名

本日の予定

- 議題

 - ① 舟運丸の塗装とシート交換の日程について ⇒来春に
 - ② 今年度の残り事業について 助成事業は完了した
 - ③ 予算の執行状況、及び備品の購入や廃棄について トランシーバー等を購入
 - ④ 来年度の事業と予算について する
 - ⑤ その他、連絡事項など 表彰状を囲んで出席者で記念撮影をしました

1/31(土) 18:00～ 新横浜の芳香園にて新年会です

1/31(土)18:00～ 新横浜の芳香園にて新年会です

話題提供 「富士川舟運紀行」(小股昭さん) ⇒次回に延期しました

次回の日程

(第212回) 令和7年12月20日(土) 18時から (次々回は1月31日)

場所：新羽地域ケアプラザ4F



社協より表彰



10月31日のビニール掛け



11月15日の脱穀



曰、自然觀察会と乗船体験が行われた。鶴見川舟運復活プロジェクト（大谷佐一会長）の主催によるもので、当団は新羽、太尾地区の児童4人、大人6人の参加があった。同プロジェクトのメンバーが数年前に手づくりした和舟2艘が稼働。参加者は息を合わせてオールを漕ぎ、舟を進ま

和舟を漕ぐ参加者ら=同会提供の体験で新規がより好きになつた」とコメント。久保田さんは「子どもたちも大人も熱心に説明聞いてくれて、楽しい時間になつた」と話していた。

鶴見川の 自然に触れる

児童ら、和舟乗船と観察会



マンゲツモチの稻を触る児童（同）

11月13日の『タウンニュース』港北区版